



特定非営利活動法人
日本小児循環器学会

小児循環器専門医研修記録簿(様式1)

氏名	
専門医番号	第 号
登録年月日(西暦)	年 月 日
資格更新年月日(西暦)	年 月 日
認定期間(西暦)	年 月 日 まで

研修記録簿の返却希望	
※返却を希望する場合は、返却先を明記したレターパックを同封のこと	
有	無

資格更新の手引き

1. 5年毎の資格更新

認定期間は5年間です。資格取得後5年毎に資格更新をしなければなりません。

2. 資格更新には以下をすべて満たしていることが必要です。

(1) 日本小児科学会小児科専門医、またはこれに準ずる他の基本領域の専門医を継続して更新していること。

(2) 日本小児循環器学会に継続して入会し、会費を支払っていること(ただし、名誉・特別会員は除く)。

(3) 5年間の認定期間中に所定の学術集会・学術講演会・その他の事業に参加し、100単位以上の研修単位を取得していること。100単位のうち50単位は基本単位が占めなければなりません。

(4) 5年間のうち最低1回は日本小児循環器学会学術集会に出席していること(基本10単位に算定されます)。

(5) 5年間のうちに安全管理に関する会議、講習会へ3回以上出席していること。また、5年のうち1回は学会主催の医療安全講習会へ出席していること。(1回につき基本5単位に算定されます)。

3. 更新書類は専門医制度委員会が指定する期間に事務局まで提出して下さい。更新対象者へは提出期間・書類送付先について事前に郵送致しますので、案内に沿って提出して下さい。更新書類は簡易書留あるいはレターパックで郵送し、封筒表面に「小児循環器専門医更新書類在中」と朱書下さい。

4. 更新申請書・研修記録簿の提出

資格更新申請には日本小児循環器学会専門医更新申請書(様式2)とこの研修記録簿の提出が必要です。研修記録が記入され、参加証明原本(参加証明が無い場合はネームカード)が貼付された研修記録簿を提出してください。原本の返却をご希望の場合には表紙の該当欄に記入し、返却先を明記したレターパックを同封して下さい。

5. 更新の遅れ→資格喪失

5年間で取得した単位が所定の必要単位数に満たない時は、更新の保留を申請し、所定の単位数に達したときに再申請することができます。保留期間は1年間で、保留期間中は小児循環器専門医を呼称することはできません。翌年更新した場合の認定期間は4年間となります。認定期限後1年を過ぎても更新できない時には、資格喪失となり、改めて資格を取得するには、新規の申請と同様となり、所定の修練と専門医認定試験を受験していただく必要があります。

6. 病気、海外留学など、止むを得ない事情により小児循環器医療に従事できない期間がある場合は、所定の申請を行い審査の上、更新期間に算入しないことができます。

7. なお、海外留学については留学先の施設長による業務内容証明付きの申請書をご提出いただければ、審査のうえ、留学期間1ヶ月につき1単位を算定できることがあります。

※更新の保留・認定期間の留保・海外留学期間の単位算定に関しては、更新保留申請書(様式3)、更新留保申請書(様式4)、海外留学期間の単位取得申請書(様式5)を、日本小児循環器学会事務局に提出してください。

研修記録記入上の注意

1) 参加を証明するシール、スタンプの添付が必要です。下記2)を記入した箇所に貼付してください。

2) 開催(掲載、出版等)日と単位数は、参加証明書等に記載されていても、必ず該当欄に記入してください。記入がない場合、その研修記録は無効になることがあります。

3) 単位数は基本単位該当の単位は「基本」の欄へ、その他の研修単位は「その他」の欄に記入してください。

4) 演者・座長の加算がある学会・研究会・セミナー・講演会等では、1つの会につき、演者または座長いずれかの1回分のみ加算が可能で、基本単位の学会においては、加算分も基本単位に加えることができます。演者の場合は研修会名の後に「演者」と記載し、演題名を、座長の場合は「座長」と記載し、座長をつとめたセッション名を記入してください。

5) 論文・著書はタイトル、発表雑誌、出版社、発表年を記載し、単著・共著の区別および全ての共著者名を記載してください。論文・著書を提出していただく必要はありません。日本小児循環器学会雑誌に掲載された論文の場合は、1編につき1名の指導者に5単位が加算されます。

6) 「年間50例以上の心臓カテーテルの術者または指導」、「年間100例以上の入院患者の担当医または指導医」による単位の申請では、それぞれ様式9-1または9-2を併せて提出してください。

7) 「学校心臓検診への参加」による単位の申請では、検診実施団体からの内容と期間が記載された依頼書を提出してください。

8) 提出の際には必ず「研修記録集計表」の各々の単位数の合計および総合計を算出してください。

研修記録集計表 専門医氏名: _____ 専門医番号: _____

基本単位(注1)	単位	回数	合計単位
日本小児循環器学会学術集会 *5年のうち1回の出席が必須	10	回	
加算(注6) 演者または座長(1つの会につき、いずれか1回のみ)	5	回	
日本小児循環器学会が指定する分科会(注2)・地方会	8	回	
加算(注6) 演者または座長(1つの会につき、いずれか1回のみ)	3	回	
本学会主催のセミナー・講演会等への出席	5	回	
加算(注6) 演者または座長(1つの会につき、いずれか1回のみ)	3	回	
医療安全にかかわるセミナー・講演会等への出席 *5年のうち3回の出席が必須 (うち1回は学会主催のセミナー・講習会であること)	5	回	
日本小児循環器学会雑誌への論文掲載(筆頭著者)	10	編	
年間50例以上の心臓カテーテルの術者または指導(1年につき)	8	年間	
年間100例以上の入院患者の担当医または主治医(1年につき)	8	年間	
学校心臓検診への参加(1年につき)	8	年間	
基本単位合計(50単位以上)	単位		

その他の単位	単位	回数	合計単位
日本小児科学会・日本循環器学会・日本心臓病学会・日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会 World Congress Cardiology (WCC)・American Heart Association (AHA)・American College of Cardiology (ACC)・European Society of Cardiology (ESC)・Asian-Pacific Congress of Cardiology (APCC)・World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery(WCPCCS)・Association for European Pediatric Cardiology (AEPC)・Asia-Pacific Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery (注3)	5	回	
3カ国 Pediatric Heart Forum	3	回	
日本循環器学会地方会	3	回	
本学会が認める小児循環器にかかわるセミナー・講演会等への出席、その他の学会・研究会・(注4)	3	回	
日本小児循環器学会雑誌への論文掲載の指導(1編につき1名のみ)	5	編	
本学会が認めるその他の査読制度を有する学術雑誌への論文掲載(筆頭著者のみ)	8	編	
小児循環器に関する著書	8	冊	
日本小児循環器学会雑誌の査読(注7)	5	編	
Circulation Journal・Journal of Cardiology の査読(注7)	3	編	
海外留学(1ヶ月につき)(注5)	1	ヵ月	
その他の単位合計	単位		

総合計(100単位以上)	単位
--------------	----

注 1. 基本単位

100 単位以上の研修単位のうち 50 単位は基本単位が占めなければなりません。

注 2. 日本小児循環器学会の分科会

日本小児心電学会・日本胎児心臓病学会・日本小児肺循環研究会・

日本先天性心疾患インターベンション学会(JCIC)・日本小児循環動態研究会・日本成人先天性心疾患学会・

日本心臓血管発生研究会・小児心血管分子医学研究会・CHSS Japan 手術手技研究会・日本小児心筋疾患

学会・日本小児循環器集中治療研究会・日本小児心臓 MR 研究会

注 3. これ以外の国際学会・海外での学会への出席については参加証とプログラムを更新申請書とともに提出。審査の上、小児循環器に関する学会は 5 単位、小児循環器に関連する学会は 3 単位を与えることがあります。

注 4. 日本小児循環器学会指定の会以外であっても、所定の条件を満たせば専門医制度委員会・カリキュラム委員会の審査により 3 単位を取得できる会としての認定を受けることができます。別紙様式 8-1, 8-2 にて申請してください。認定を受けた学会・研究会の一覧は日本小児循環器学会のホームページ (http://jspccs.jp/specialist/specialist_certification/application_r/) に掲載されます。

注 5. 留学先の施設長による業務内容証明付きの「海外留学期間の単位取得申請書(様式 5)」を更新申請書とともに提出してください。

注 6. 演者・座長の加算がある学会・研究会・セミナー・講演会等では、1 つの会につき、演者または座長いずれかの 1 回分のみ加算が可能で、基本単位の学会においては、加算分も基本単位に加えることができます。

注 7. 日本小児循環器学会雑誌では編集委員会よりの査読の証明を、Circulation Journal・Journal of Cardiology では査読終了時に送信されるお礼の e-mail を研修記録簿に添付すること。

研修記録

年 月 日	日本小児循環器学会学術集会 参加証明書原本(参加証明が無い場合はネームカード)貼付け	基本単位数
小計		

年 月 日	日本小児循環器学会学術集会 参加証明書原本(参加証明が無い場合はネームカード)貼付け	基本単位数
小計		

年 月 日	日本小児循環器学会学術集会 参加証明書原本(参加証明が無い場合はネームカード)貼付け	基本単位数
	小計	

年 月 日	医療安全にかかわるセミナー・講演会等 (参加等証明書原本貼付け)	基本単位数
小計		

年 月 日	医療安全にかかわるセミナー・講演会等 (参加等証明書原本貼付け)	基本単位数
小計		

年 月 日	<p style="text-align: center;">基本単位分</p> <p style="text-align: center;">学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)</p>	基本単位数
	<p>年間 50 例以上の心臓カテーテルの術者または指導(1 年につき) 該当する期間を記入() <u>様式 9-1 提出</u></p> <p>年間 100 例以上の入院患者の担当医または指導医(1 年につき) 該当する期間を記入() <u>様式 9-2 提出</u></p> <p>学校心臓検診への参加(1 年につき) 該当する期間を記入() <u>依頼書提出</u></p> <p>※ 上記を単位として申請される場合のみ記入</p>	
小計		

年 月 日	<u>基本単位分</u> 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	基本単位数
小計		

年 月 日	<u>基本単位分</u> 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	基本単位数
小計		

年 月 日	<u>基本単位分</u> 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	基本単位数
小計		

年 月 日	その他の単位分 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	その他 単位数
	小計	

年 月 日	その他の単位分 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	その他 単位数
	小計	

年 月 日	その他の単位分 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	その他 単位数
	小計	

年 月 日	その他の単位分 学会・講演会・セミナーへの出席, 論文・著書の題名, その他 (参加等証明書原本貼付け)	その他 単位数
	小計	

